建築デザイン学科 AP

建築デザイン学部・建築デザイン学科は、住居学及び建築学の視点から住居から都市までの生活環境を総合的に理解し、住生活を包含する豊かな環境をデザインできる専門性の高い人材の養成を目的としている。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

国内外の生活環境を、歴史、地域、芸術、技術、持続可能性、その他社会的課題などの側面から理解すること、またその知見に基づいて豊かな住居・建築・都市環境をデザインすることに興味、意欲がある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

①高等学校までに学んだ諸科目（外国語（英語）、国語、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していること［知識・技能］

②住居・建築、地域、都市における様々な課題に対して、自分自身の意見や考えを積極的に表現することができること［思考力・判断力・表現力等］

③住居・建築、地域、都市に関わる専門的知識や技能を身につけること、及び居住者・利用者の立場から生活しやすい居住環境の提案や建築、都市のデザインを自立的、継続的、計画的、かつ他者と協力して取り組む意欲を有していること［主体的に学習に取り組む態度］

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力、学習に取り組む態度も加味しながら判定する 。

・一般選抜（個別選抜型）

高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを筆記試験により評価する。建築デザインを学ぶ基礎となる教科として、国語、外国語（英語）、数学、理科（物理）の基礎学力を評価・判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）
　高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを筆記試験により評価する。外国語（英語）の４技能の定着度に重きを置き、英語外部試験で一定のスコアを満たしていることを出願条件とし、国語、数学、理科（物理）の基礎学力を評価・判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型））
　高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを大学入学共通テストの結果により判定する。特に受験指定科目（国語、外国語、地理歴史および公民、数学、理科）の基礎学力を評価する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期５科目型））
　高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを大学入学共通テストの結果により判定する。特に受験指定科目（国語、外国語、地理歴史および公民、数学、理科）の基礎学力を評価する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（後期））
　高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを大学入学共通テストの結果により判定する。特に受験指定科目（外国語、数学、理科）の基礎学力を評価する。

(2) 総合型選抜
　高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを出願書類により評価する。また、住居・建築、地域、都市における様々な課題に対して、自分自身の意見や考えを積極的に表現することができることや住居・建築、地域、都市に関わる専門的知識や技能を身につけること、および居住者・利用者の立場から生活しやすい居住環境の提案や建築、都市のデザインを自立的、継続的、計画的、かつ他者と協力して取り組む意欲を有していることを「空間表現」試験による表現力（描写力、文章力）と口述試験による言語化によって総合的に評価する。また「主体的に学習に取り組む態度」についても口述試験で確認・評価する。

(3) 学校推薦型選抜

高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類（事前課題を含む）と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力及び、協働性を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）

日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって、「高等学校段階までに修得すべき学力」を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（指定校制／連携校）

本学科が指定する高等学校（指定校／連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類（事前課題を含む）と面接試験（口述試験）によって「高等学校段階までに修得すべき学力」を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（公募制）

高等学校長が推薦する人を対象に、高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを出願書類により評価する。また、小論文にて論理的な思考力と表現力を、口述試験にてコミュニケーション力、表現力および他者と議論する力を判定し、総合的に判断する。

(4) 外国人留学生

外国語検定試験（TOEFL／TOEIC）のスコア、日本留学試験（日本語、総合科目、数学（コース２））の試験によって、建築デザインを学ぶために十分な基礎学力を有しているかを評価する。また、出願書類および口述試験によって、住居・建築、地域、都市に関わる専門的知識や技能を身につけることに対する学修意欲、自分自身の意見や考えを適切に表現することのできる日本語能力やコミュニケーション能力を評価する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校の卒業生（見込みを含む）や他大学在校生を対象に、小論文、数学、デッサンの筆記試験を行う。その筆記試験と外国語検定試験のスコアを含む出願書類により、建築デザインを学ぶための学力と表現力を評価する。また、口述試験によって、住居・建築、地域、都市に関わる専門的知識や技能を身につけることに対する学修意欲と自分自身の意見や考えを適切に表現するためのコミュニケーション能力を評価する。